

脩訂

校正

第四十七議會：提案セル
帝都復興院決定：至ル経緯

帝都復興院

第四十七議會：提案セル

帝都復興協算決定ニ至ル経緯
政府ハ第四十七議會：於テ帝都
復興事業費協算総額五
億七千四百八十一万六千〇四十
九圓ヲ大正十二年度以降六
ヶ年度ノ継続費トシテ提出シタリ
然ルニ衆議院：於テハ審査ノ結果
之ヲ査定シテ四億六千八百四十三
万八千八百四十九圓ト決定セリ改

帝都復興院

府提案：比ニ削減額實ニ一億
六百三十七万七千二百圓也
一方事務費：於テ大正十二年
度分トシテ追加要求セル七十万二
千四百十圓ハ其金額ヲ削除セリ
右衆議院：於ケル査定：就テ具サニ
其内容ヲ按スルニ

東京復興費：於テ総額

九千六百十一万四千六百圓

内譯六千四百三十六万四千六百圓
街路費

三千百七十五万圆土地整理費

ヲ減シ

横濱復興費ニ於テ

一千二十六万二千六百圆

内譯六百三十四万五千六百圆街路費

三百九十一万七千圆土地整理費

ヲ減シタリ

土地整理ニ關スル費用削減、理由ハ政府提案、如ク此整理ニ依ル受益者、土地一部、提供ハ所

帝都復興院

有権ニ關スル難問ヲ存シ我國ニハ往驗ナキ事業ナルヲ以テ之ヲ燒失區域、全般ニ施行スルコトハ事態容易ナラズト認めニ付比較的實行ノ可能性アリ又疑問少ナキ方法ヲ取ルヲ可トスヘク即大体现行法ニヨリ地主組合ヲシテ之ヲ行ハシムルヲ本義トシ只例外トシテ街路修築上必要ナル場合例令ハ残地處分其他止クナキ場合ニ起ルヘキ

地區整理ノミ之ヲ政府ニ於テ行フコト、セシムルノ、主旨ニシテ修正意見ハ地區整理ヲ全ク否認スルモノニハアラスト雖モ其範圍ヲ必要且實行可能、程度ニ止メシメルトス即整理上困難ヲ伴ヒ且短期間ニ之ヲ遂行シ難キ部分ハ之ヲ組合、自治ニ委セシトスルニアリ、此主張ヲ以テ政府ハ街路修築上必要部分トシテ東京ニ於テ約百万坪横濱ニ於テ約三

帝都復興院

十萬坪合計百三十萬坪ニ區劃整理ヲ行フコトヲ認メルトス從テ之ニ要スル以外ノ經費合計三千五百六十六萬七千圓ヲ刪減スト云フニ在リ、

次ニ街路費ニ就テハ政府提議中十二間以下ノ道路ニ關スルモノハ政府ハ概算ヲ示セルニ過キサルヲ以テ土地整理ト相俟ツテ之ヲ行ハシムルヲ可トスヘク必スシモ國自カラ之ヲ執行スルノ必

要ヲ認メス宜シク独立セル地方自治體ノ機能ニ委シテ之ヲ執行セシムヘク國ハ只適當ニ之ヲ援助スルノ方針ヲ取ルマキヲ至當ナリトス而シテ之ヲ地方自治體ニ委スルノ結果トシテ東京、横濱ノ街路費中ヨリ凡ソ二割ヲ刪減シ合計七千七十一万二百圓ヲ國ノ經費ヨリ節約セシムヘト云フニ在リ

而シテ右ノ刪減ハ決シテ之ニヨリ帝都、

帝都復興院

復興事業ヲ妨遏セルトスルノ意味ニアルス此刪減アリト雖モ事業遂行者ハ毫モ其遂行ヲ妨ケフル、コトナカルヘシ要之本修正ハ(一)自治體ノ自治權ヲ尊重シ其尊嚴ヲ侵サス(二)事業實行ノ難易ニ考慮ヲ拂ヒ、次テ此刪減ヲ決定シタルモノニシテ何等ノ不合理ナク又實行不可能ニアラサル確信ノ下ニ決定センモノナリト、次ニ事務費ニ就テハ復興院費

全部ヲ刪除シタルハ必スモ復興
事業ニ實際上必要ナル事務
費ヲ刪除スルノ意味ニアラス、如上
修正豫算、遂行上最早現
官制ノ認めル如キ尅大ナル機關ヲ
必要トスル而モ事業ノ内容ニ就テ
之ヲ見ルニ事ハ宜シク各省ノ主管
ニ屬スヘキ性質ノモノ多キヲ以テ寧ロ
内務省ノ一部局トシテ之カ執行ニ
當ルヲ着實穩健ナリト認めルノミ

帝都復興院

ナラス事業遂行上、便宜及利益
アルヘキヲ信ス即適當ナル所管官
廳ノ事務費トシテ之ヲ要求スルニ於
テハ何等異議ヲ揮ムヘキモアラズ、宜
シク追加豫算トシテ成ヘク切詰メ有
効ニ具體的ニ事務ノ進捗ヲ図ル
意味ニ於テ之ヲ要求セラルヘシト云フニ
在リ、

如上衆議院、修正ハ改悪ニシテ却テ
實行上、不便不利ヲ生シ進行浩

滞経費増加ヲ来タスコト明カニシテ
市民ノ蒙ルキ損失亦大ナリト云ハ
サルヲ得ス然レトモ其實行ハ絶對不
可能ニアラサルヲ次ニ政府ハ反覆考
慮ノ結果止ムヲ得ザンモノトシテ之ニ同
意セリ。

今政府カ同意ヲ決意センニ至リシ主
ナル理由ヲ挙ケレハ

一、政府若ク修正ニ同意セザル
場合ハ自然衆議院ヲ解散

帝都復興院

スルノ外途ナカルヘクカクテハ法定ノ手
續ヲ經テ総選挙ヲ行ヒ次期
議會、成立スルニ至ル迄ハ復興
豫算、確定ヲ見ルコト能ハザル
ヘク其間少クモ半歳、日月ヲ
徒費スマク斯クテハ現下罹災
住民カ一日モ速カニ復興計画
ノ確定ヲ見其生活上ノ安定ヲ
期圖セトスルノ熱望ヲ頓挫セシメ
市民ノ不安ヲ免レシムルコト能ハカ

ルヘクカクテハ大詔ノ旨ニ副フ所次ニ
アラス政府者トシテモ亦誠ニ忍ヒ
カタキ事態ナレバ

二、衆議院ノ査定ハ其額巨額ナ
リト雖モ之畢竟實行ノ所管
ニ主體ヲ移スニ過キス、地方自治
體ニ於テ之ヲ行フ場合ハ國力之
ヲ補助スルヲ否定セサルヘキハ前條
正理由ニ徴シテ明ナリ即自治體
自カラ之ヲ行フノ意志ヲ表示シ

帝都復興院

必要ナル補助ヲ國ニ要求スル
場合ハ此經費ニ協賛ヲ乞ム
モノニアラサルコトヲ明カニセラレタリ、素
ヨリ國自カラ之ヲ執行スル場合
ト便否同目ノ論ニアラサルヘキモ
結果ニ於テ事業ノ遂行力沮
碍セラレサレ限リ政府ニ於テハ之ヲ
讓歩スルヲ止ムヲ得スト認めタリ、
三、第一項ニ於ル政府不同意ノ場合
ニ於ケル議會、解散ニ際シテハ

必要ナル経費ノ支出ハ緊急ノ勅
令ニ依ル、外ナシ然レトモ凡ソ如
此場合ニ於ケル支出ハ所謂
一般原則ノ例外ニシテ性質上
頗ル局限的ノモノナルヘキニ依リ之ニ
依ツテ必要ノ経費支辨ニ應
セシトセバ必スヤ法令運用ノ善例
トナスヘカラス政治道德上重大
ノ責任ヲ感スヘキモノナルニ依リ如
此權道ハ嚴シ之ヲ避ケザンヘカラ

帝都復興院

ス、

四、急激院、修正ハ政府當局ノ
頗ル苦痛トスル處ナルモ帝都
復興ノ基礎ノ確定ニ就テハ
必スシモ根本的ノ妨ケナキモノト認
メタルコト、（此事後段ニ詳説スシ）

以上ノ四理由ニ依リ政府ハ該查
定ニ同意ヲ與ヘタリ、今本際岸
カ帝都、復興計畫ヲ將來ニ大
成スルニ就テ大体ニ於テ因ヨリ障

害ナシト云フヲ得サレトモ高復興ノ基
礎根幹ヲ定ムルニ堪ユヘシトスル理由
ニ就テハ茲ニ一言ヲ費スノ必要ヲ
見ル以下之ヲ略説ス

抑政府カ今回、復興計畫ヲ樹
ツルニ當リテ第一ニ當面センハ這次、
震火災ニヨル慘害ノ極メテ廣大
激甚ナリシコトナリ、且將來火災害
ヲ避クルノ途ヲ講スルハ今日ニ在リ、次
ニ其如キ結果ニ到達センコトニ就テ

帝都復興院

ハ從來、都市計畫、規則及其
遂行ニ就テ頗ル遺憾、点多カリ
シコトナリ、次ニ財政、状況カ常ニ不
振ニシテ都市多年、長計ヲ確立
スルニ便ナラサリシコト宿恨タリ、

然ルニ帝都ハ其性質及位置上
實ニ我國政治經濟及文化ノ中
心ニシテ這次、被害、如キ甚地方、
人心、經濟ニ及ホス影響ノ重且大
ナルハ日ヲ逐フテ愈明瞭スルニ至リ之

シ單ニ一首都ノ問題タルニ止ムル能
リサルコトノ証左歴々タルモノアリ。政府
ハ夙ニ此点ニ豫見シ先ツ案ヲ定メテ
稍理想の成案ヲ得タルモ一面國
家財政ノ現況及其將來ニ照シ
テ之ト嚴格ナル協調ヲ保テ歩一
歩理想ヨリ現實ニ移リ各方面ニ
亘リ反覆論究ノ末最急務中、
急ナルモノニ限り自餘ハ之ヲ他日ノ發
展ニ期スルコトニシ終ニ第四十七議

帝都復興院

會提出、成案ヲ得ルニ至レリ。

政府當局、稍理想の案トシテ當
初考慮セムモノハ別案十七億圓
案ナリシモ之ヨリ電車線路費地下
埋設物費高壓防火水道費合
計一億九千万圓ヲ除ケハ東京
橫濱ヲ通シテ概算十五億圓ノ
計要トスルマウ又之ヨリ地下錢道凡
二億圓ヲ除ケハ十二億餘萬圓トナリ
爾後一轉再轉シテ參事會評議

費會、議ヲ經テ総額七億二百九十
十七万七千九百八十一圓ト計上
セラレ一旦閣議、校閲ヲ經タルモ後
復興審議會、意見ヲ斟酌シテ
総額五億九千七百七十四万七千四
十五圓ト修正セラレ右ノ内事務費
ニ該當スル金額二千二百九十三万
一千圓ハ之ヲ繼續費トナサズ毎年
其所要額ヲ要求スルコト、シ不取敢
大正十二年度追加臨時費トシテ金

帝都復興院

七十万二千四百十圓（調査及研
究費ヲ含ム）ヲ要求スルニ至レルコトハ
曩ニ記述セントコト、如シ
今十七億圓計畫、大綱ヲ挙クレハ
次、如シ

帝都復興十七億圓案

總額

一七〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓

街路費

六五〇、〇〇〇、〇〇〇

橋梁費

五〇、〇〇〇、〇〇〇

市内河川費

六〇、〇〇〇、〇〇〇

京濱運河費

一五、〇〇〇、〇〇〇

圓

港灣費(河改修)

三五、〇〇〇、〇〇〇

上水道費

五、〇〇〇、〇〇〇

下水道費

一一〇、〇〇〇、〇〇〇

塵埃處分費

一〇、〇〇〇、〇〇〇

建築助成費

六〇、〇〇〇、〇〇〇

公園費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

區劃整理費

四〇、〇〇〇、〇〇〇

事務費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

合計

一、〇九五、〇〇〇、〇〇〇

帝都復興院

橫濱復興費

二〇〇、〇〇〇、〇〇〇

圓

總計

一、二九五、〇〇〇、〇〇〇

此外

地下錢道費

二〇〇、〇〇〇、〇〇〇

通計

一、四九五、〇〇〇、〇〇〇

更:

電車費(路面)

六〇、〇〇〇、〇〇〇

地下埋設物費

九〇、〇〇〇、〇〇〇

高壓水道費

四〇、〇〇〇、〇〇〇

計

一九〇、〇〇〇、〇〇〇

《通計》

一、六八五、〇〇〇、〇〇〇 億

大體に依り
(十七億圓案)

如上計數ニ就テ通覽スレハ今回、
確定豫算ニ於テ主要ナル街路、
擴築新設ヲ見タル曉ハ財政、現
狀ニ應ジ自給自足ニ依ルヘキ事業
即チ電車(高速度并路面)、如キハ
適當、時機ニ於テ之ヲ完成シ期ス
ヘク、鐵路以外、山手方面、地域ニ於
ケル環狀線放射線ヲ始メ下水設備

帝都復興院

ハ勿論公園地域、如キモ財政狀態
ノ推移ニ應ジ漸次其實現具體
化シ期スヘク今日ニ於テ基礎タリ根
幹タル復興計畫ニシテ當局ノ熱
誠ト市民并識者ノ熱烈ナル後
援ニヨリテ之ヲ遂行スルコトヲ得バ他ハ
自カラ時日ノ問題トシテ解決ノ目アル
ヲ期スヘク所謂規模ハ大ナルヘク實行
ハ財政其他市ノ經濟生活ノ現狀ト
適當ニ相終始スヘシトノ輿論ハ甚達

行ヲ庶幾スルヲ得ヘト信ス

如上系議院ヲ通過せん豫算修
正案ハ更ニ貴族院ニ送付可決セラ
レズニ第百十七議會ニ於ケル中心
問題タリシ復興豫算ハ甚確定ヲ見
タリ貴族院ニ於テハ本案可決ノ
際希望條件ヲ附帶決議セリ要
旨ハ本案ヲ次テ尚不備ノ点アリトシ
他日財政ノ状況ニ就テ更ニ適當ノ
改善擴張ヲ行ヒ次テ帝都復興

帝都復興院

ノ實ヲ全フスヘシト云フニ在リ是素ヨリ政
府當局ニ於テ異議アルベキコトニアラス
將來尚考完ヲ重ク今後ニ善
處スル方圖ヲ諤ラズ上ハ聖旨ニ應
ヘ奉リ下羅災市民ノ復興ニ就テ
最善ノ努力ヲ盡效サハコトヲ期セリ

大正十二年十二月二十四日記

帝都復興院